

令和8年7月24日  
北九州市 財政・変革局

報道機関 各位

## 北九州市「官民共創ポータル」(愛称:Q-PORT)開設のお知らせ —提案をスムーズに受け付け、スピーディに案件形成へと伴走—

社会課題の解決と企業の収益向上を両立する「持続可能なビジネス」を官民で共創する取組をさらに推進するため、このたび、情報発信のハブとなる、北九州市官民共創ポータル「kitaQ 共創 PORT (愛称:Q-PORT)」を開設いたしました。

本ポータルの開設に合わせ、本年5月22日の「官民共創ガイドライン」策定時に「専用ポータルサイトの公開に合わせて実装予定」としていた「課題設定型(テーマ型)提案受付機能」を新規に実装しました。

これにより、民間事業者等からの自由なアイデアを受け付ける「自由提案型(フリー型)」と合わせて2つの提案窓口を完備し、民間事業者等はポータルから直接提案を申請することができます。

また、メディアプラットフォーム「note」と連携し、官民共創の取組やプロジェクトの創出、実現までのプロセスを継続的に発信することで、官民共創の輪をさらに広げていきます。

つきましては、対象となる民間事業者等への周知が図られますよう、貴社媒体でのご紹介にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

北九州市官民共創ポータル:「kitaQ共創PORT」 愛称:Q-PORT(キューポート)



▼kitaQ 共創 PORT (愛称:Q-PORT) の URL はこちらです。

[https://kitaq-partnership.com/kitaq\\_ccx](https://kitaq-partnership.com/kitaq_ccx)

### 1 Q-PORT の2つの主要機能

(1) 民間事業者等の強みに合わせて選べる「2つの提案アプローチ」

民間事業者等の状況やアイデアに合わせて最適なルートを選べるよう、性質の異なる2つの提案受付窓口をポータル上に用意し、24時間365日いつでもオンラインから直接申請を可能にしました。

| 2つの提案アプローチ（窓口の二本柱） |                                       |
|--------------------|---------------------------------------|
| ① テーマ型【新設】         | 市が抱える喫緊の課題をテーマとして明示し、それに対する解決策を公募する方式 |
| ② フリー型【既存】         | 特定のテーマを設けず、民間からの自由な発想に基づく提案を広く受け付ける方式 |

提案を募集するテーマ型の主な課題は下記の通り（本日時点 ※順次公開予定）

- ・遊休アセットのポテンシャルを引き出す、新たな公的不動産流通モデルの構築
- ・響灘産業拠点における「企業参加型」通勤送迎シェアリングモデルの構築

## （２）共創のプロセスを可視化する「情報発信機能」

市が共創したい課題（テーマ）は、note コンテンツとして投稿。いただいた提案内容は大切に取り扱いながら、応募から実現までの進捗状況については note 内で随時公開していきます。イベントのお知らせや新着情報などの活動トピックスや担当メンバーからの情報発信も計画しています。

▼北九州市 市政変革推進室（官民共創担当）の note の URL はこちらです。

[https://note.com/kitag\\_ccx](https://note.com/kitag_ccx)

**note**

## 2 愛称「Q-PORT」に込めた想い

本愛称には、北九州市の歴史や強みと、私たちがこの官民共創を通じてステークホルダーの皆様と共有したい「価値観」を込めています。

### （１）「３つのQ」をモットーに

#### ① Quality Question（質の高い問いを立てること）

社会が複雑化する現代、行政が一方的に「正解（仕様書）」を押し付ける受発注の関係（toG）は限界を迎えています。解決すべき社会・地域課題に対して「質の高い問い（Q）」を官民で共に立て、課題を解決する計算式を共に創り出す姿勢を大切にします。

#### ② Quest（未知への探求）

前例がない困難な課題に対して、官民が「対等なパートナー」として、共に試行錯誤し、最適解を探求（Quest）し続ける決意を示しています。

#### ③ Quality of Life（市民生活の質の向上）

社会的価値と経済的価値を両立する持続可能なビジネス（withG）を創出し、市民生活の「質（Quality）」を中長期的に高め続けるという私たちのゴールを意味しています。

### （２）新たな価値を社会へ送り出す「出航の港（PORT）」

北九州市は、古くから日本の産業を支えてきた「港湾・物流の拠点」であり、世界ともつながっています。このポータルを、民間の多様なアイデア、技術、想い、そして行政のアセットが集まる「港（PORT）」とし、ここから新たな社会的・経済的付加価値を生み出して社会（大海原）へ送り出す「出航の地」にしたいという想いを込めています。そして、誰もが気軽に立ち寄り、頼りたくなる温かい「港（PORT）」でありたいという願いを込めています。

### 3 生きたポータルにすべく企画、設計、構築を内製化

ポータルの企画・設計・構築を、共創人材とともに自ら実行しました。内製化することで、利用状況やニーズに応じて随時変更や拡張などのアップデートを行うことが可能です。利用者とともに考え、成長し続ける「生きたポータル」を目指します。

#### ✓ 行政職員×民間プロフェッショナルによる構築

官民共創ポータルは、起案、アイデア出しやコンテンツ作りを株式会社山口フィナンシャルグループの竹本氏、実装を株式会社アシストの西嶋氏が中心となり、官民合同で企画・設計・構築を行いました。

この世界で。  
この街で。  
このじぶん。

**YMfg**



株式会社山口フィナンシャルグループ  
係長 竹本 夢輝 氏

**アシスト**



株式会社アシスト  
営業本部 公共ビジネス推進室  
主査 西嶋 真澄 氏

#### ✓ 民間専門人材が「翻訳者」として伴走する推進体制

北九州市のビジョンに共感いただいた企業から専門人材を出向として受け入れ、アドバイザリーの合同会社デロイト トーマツの石塚氏を含め、強力な推進体制を整備。行政と民間の言語と文化の違いを埋める「共創コーディネーター」として、企画段階から事業化までを行政と民間の双方に寄り添い、サポートします。

**Deloitte.**



合同会社デロイト トーマツ  
ガバメント&パブリックサービスズ  
シニアマネジャー 石塚 理博 氏

**karabiner.inc**



カラビナテクノロジー株式会社  
クライアントエンゲージメント本部  
シニアエバンジェリスト 成田 啓明 氏

#### (参考情報)「官民共創」とは

行政と民間が対等なパートナーとして連携し、社会や地域の課題解決を「持続可能なビジネス」として共に創り上げていくこと。(to Gからwith Gへ)

▼(参考)官民共創ガイドラインは、市ホームページからダウンロードいただけます。  
[https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/092\\_00061.html](https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/092_00061.html)

#### 【問い合わせ先】

財政・変革局 市政変革推進室 次長：安徳、担当係長：山田（諭） TEL093-582-2160